

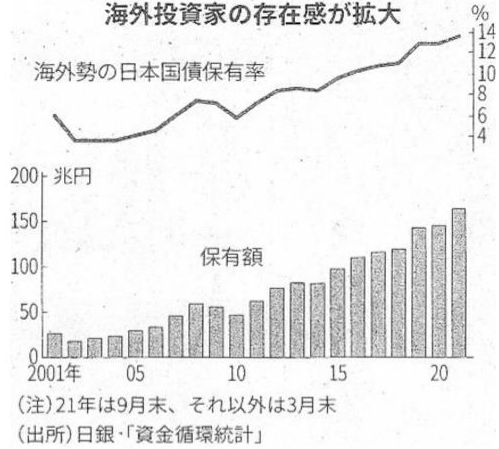
週間国際経済 2022 (2) No.295 01/12~01/22

- 01/12・資産縮小「今年後半にも」 FRB 議長 高インフレ懸念 <1>
- ・中国卸売物価 8.1%上昇 昨年、26年ぶり高水準
 - ・経常黒字 48.2%減 11月 原油高で貿易収支赤字
 - ・オミクロン感染 欧州人口半数も 今後6~8週で WHO「医療に負荷」訴え
 - ・OECD加盟国 物価 5.8%上昇 11月
- 01/13・米消費者物価 7.0%上昇 12月 39年ぶり伸び 車・食品など広く
- ・海外勢の国債保有拡大 昨年の債券買越額 12兆円 過去最大 <2>
- 01/14・企業物価 12月 8.5%上昇 資源高や円安 1980年以来の伸び続く <3>
- ・想定外の物価 2%現実味 食品・日用品 値上げ招く
- 01/15・中国、対米の貿易額最大 昨年、輸出入3割増 相互依存強まる
- 01/17・中国、4.0%成長に鈍化 10~12月実質 通年は8.1% 1~3月も停滞か <4>
- ・ゼロコロナ重荷 規制も響く 北京でオミクロン下押し
- 01/18・中国、将来不安で少子化 出生数、昨年最小の1062万人 経済成長抑制の懸念
- 01/19・日銀総裁「利上げ議論、全くない」 物価上振れリスク言及
- ・金利1%上昇で国債費 3.7兆円増 25年度の財務相試算 後年度負担高止まりも
 - ・米金利の上昇加速 2年債1%超 利上げ拡大観測で
 - ・NY原油7年ぶり高値 一時86ドル台 米、産油国と対応協議
- 01/20・インフレ警戒、世界株安 日経平均一時900円超下げ 原油急騰が発端 <5>
- ・英消費者物価 5.4%上昇 12月、30年ぶり水準 利上げ予想強く
 - ・中国、2ヶ月連続利下げ 景気停滞、需要を刺激
 - ・輸出入ともに過去最高 12月、米中向け自動車回復
- 01/21・消費者物価 0.5%上昇 12月 電気代、40年ぶり上げ幅
- ・「デジタルドル」初の報告書 FRB、意見公募へ 出遅れ懸念
- 01/22・日米、経済2プラス2新設 首脳会談 ウクライナ侵攻抑止へ結束 <6>
- ・ハイテク株、世界で急落 ナスダック、7ヶ月ぶり安値 巣ごもり投資、逆回転

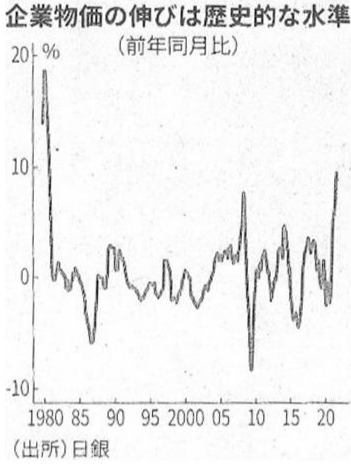
<1>

パウエルFRB議長の発言骨子
年内に利上げを始め、年後半にも保有資産縮小に着手
高インフレが長引けば時間をかけてより多くの利上げが必要に
高インフレは最大雇用の達成や景気拡大の深刻な脅威
金融正常化には長い道のり

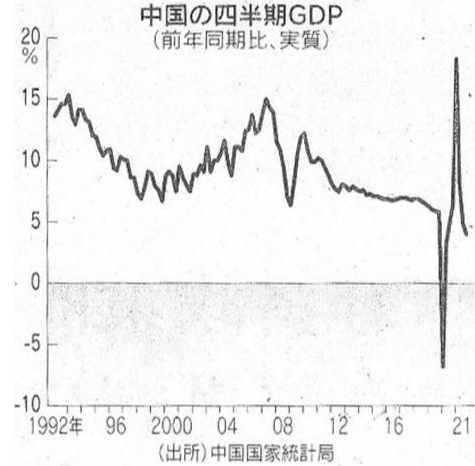
<2>



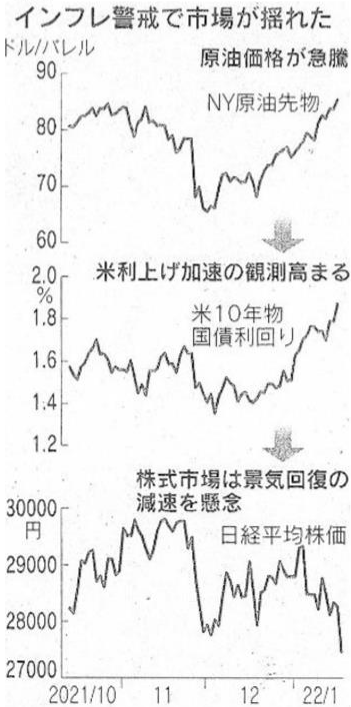
<3>



<4>



<5>



<6>

日米首脳協議の主な内容	
ウクライナ情勢	「いかなる攻撃にも強い行動を取る」と一致
対中国	日米安保条約第5条の尖閣適用を確認
台湾	平和と安定の重要性を強調、平和的解決促す
日本の防衛力	首相から「抜本的な強化の決意」を伝達
クアッド	2022年前半に首脳会談を日本で開催で一致
経済協力	閣僚レベルの協議の立ち上げで合意
在日米軍	コロナの感染拡大対策で協力を継続
核軍縮	核なき世界に向けて共に取り組むと確認